

令和2年度 長浜市民意識調査 報告書（概要版）

長浜市では、市が行っている様々な取組について市民の皆さまに「満足度」や「重要度」をおたずねするとともに、社会が変わっていく中で、長浜市がこれから進むべき方向についてのお考えをお聞きし、今後の取組を考える上での基礎とすることを目的に、平成24年度から毎年、長浜市民満足度調査を実施しています。令和元年度までは調査名称を「長浜市民満足度調査」としていましたが、市民の皆さまに市政へのご意見や生活意識を幅広くお聞きするため、令和2年度の調査名称を「長浜市民意識調査」に変更し、質問項目の見直しを行いました。

令和2年度は、基本調査項目として「長浜市の住みやすさ」と「市が行っている56施策の満足度と重要度」を、また、特別調査項目として「新型コロナウイルス感染症の影響」と「一般に開放されている場所（公共空間）の整備と活用」、及び「情報サービスの利用」について18歳以上の市内居住者3,000人を対象に調査しました。今回、調査結果をまとめた報告書を公表します。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました多くの市民の皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

■調査の概要

- ・調査対象：市内に居住する18歳以上の方3,000人
- ・抽出方法：住民基本台帳から各地域の人口割合に応じて無作為抽出
- ・調査方法：郵送によるアンケートの配布、郵送またはインターネットでの回収
- ・調査時期：令和3年2月8日～2月19日
- ・回収結果：有効回収数1,320件（回収率44.0%）内、インターネット回答150件
- ・回答者属性：男性43.9% 女性53.9% 答えたくない0.3% 不明・無回答1.8%

| 年齢 | 割合 | 年齢 | 割合 |
|--------|-------|--------|-------|
| 18～24歳 | 4.4% | 50～54歳 | 7.7% |
| 25～29歳 | 3.8% | 55～59歳 | 10.4% |
| 30～34歳 | 5.2% | 60～64歳 | 11.3% |
| 35～39歳 | 7.0% | 65～69歳 | 13.6% |
| 40～44歳 | 7.2% | 70～74歳 | 18.5% |
| 45～49歳 | 10.2% | 75歳以上 | 0.6% |
| | | 不明・無回答 | 0.2% |

| 地域 | 割合 | 地域 | 割合 |
|------|--------|--------|-------|
| 長浜地域 | 50.20% | 高月地域 | 8.70% |
| 浅井地域 | 10.50% | 木之本地域 | 5.90% |
| びわ地域 | 5.70% | 余呉地域 | 3.30% |
| 虎姫地域 | 2.90% | 西浅井地域 | 4.40% |
| 湖北地域 | 8.30% | 不明・無回答 | 0.30% |

調査結果のポイント

基本調査項目①住みやすさ 長浜市の住みやすさについて、住み心地がよいと思う人は約9割

- ・長浜市の「住み心地」について、よいと思う（「とてもよいと思う」と「よいと思う」の合計）と回答した人は約9割（90.3%）となり、昨年度より増加しました。また、長浜市での居住継続希望の有無について、「住み続けたい」（「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）と回答した人も約9割（88.6%）となりました。

| ● 長浜市の「住み心地」についてどう思いますか。 | | |
|--------------------------------------|--------------|-------|
| | 令和2年度 | 令和元年度 |
| とてもよいと思う | 12.6% | 12.5% |
| よいと思う | 77.7% | 73.9% |
| 悪いと思う | 9.2% | 11.6% |
| とても悪いと思う | 0.5% | 2.0% |
| よいと思う(計) 「とてもよいと思う」 「よいと思う」の合計 | 90.3% | 86.4% |
| 悪いと思う(計) 「悪いと思う」「とても悪いと思う」の合計 | 9.7% | 13.6% |

令和2年度調査結果(N=1,296) 令和元年度調査結果(N=1,044)

| ● 長浜市にこれからも住み続けたいと思いますか。 | | |
|---|--------------|-------|
| | 令和2年度 | 令和元年度 |
| 住み続けたい | 46.0% | 48.3% |
| どちらかといえば住み続けたい | 42.6% | 32.3% |
| 県内の他市町に転居したい | 4.8% | 4.9% |
| 県外に転居したい | 6.6% | 4.2% |
| どちらとも言えない | - | 10.3% |
| 住み続けたい 「住み続けたい」「どちらかとい えは住み続けたい」の合計 | 88.6% | 80.6% |
| 転居したい 「県内の他市町に転居したい」 「県外に転居したい」の合計 | 11.4% | 9.1% |

令和2年度調査結果(N=1,312) 令和元年度調査結果(N=1,078)

基本調査項目②市政の満足度と重要度

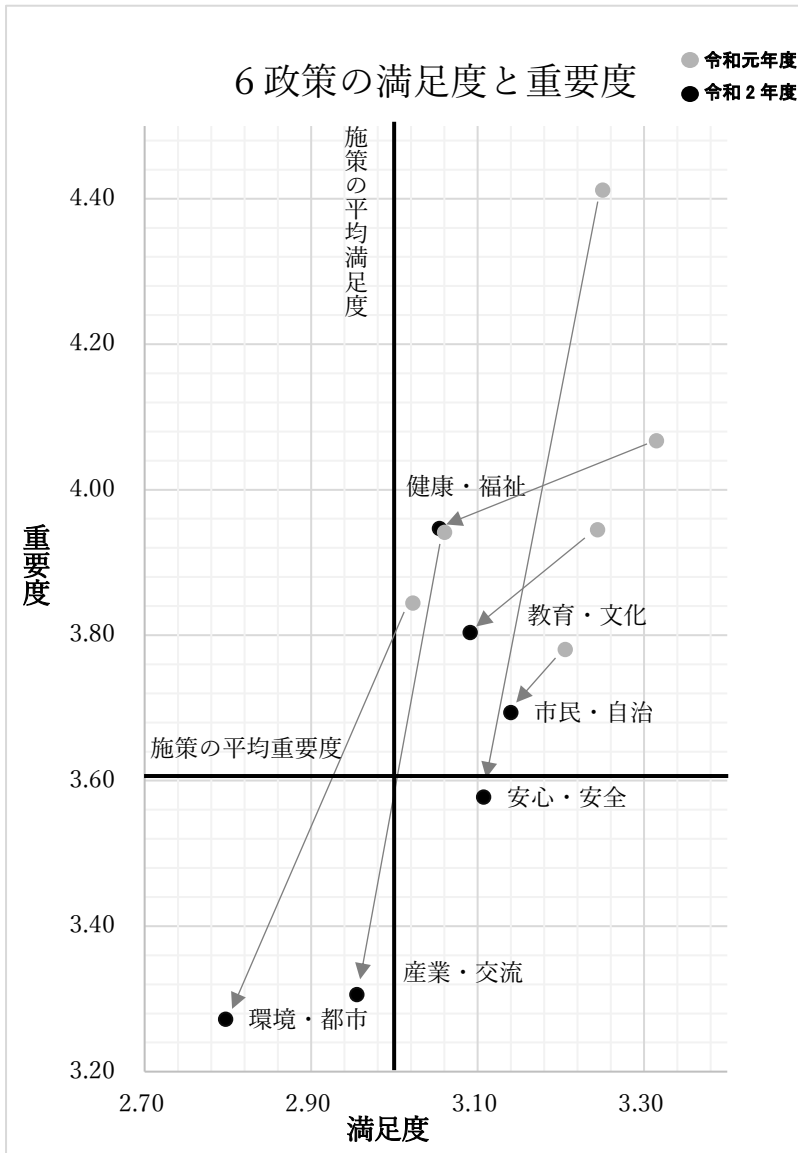
満足度が最も高いものは3年振りに「伝統・歴史・文化の継承」重要度は「地域医療体制の充実」が2年連続

- ・ 施策への満足度では、0.15ポイント下がりましたが3年振りに「伝統・歴史・文化の継承」が1位となりました。上位3施策は順位の変化こそあるものの、昨年度と同じ施策でした。4位の「美しい景観の保全と創出」（昨年度14位）と5位の「学校での教育環境の充実」（昨年度26位）は昨年度の順位から大きく上昇しました。
- ・ 施策への重要度では、0.18ポイント下がりましたが「地域医療体制の充実」が2年連続で1位となりました。昨年度と比べ、大きく2位以下の施策の順位が入れ替わり、医療や子育ての関連の施策が上位を占めました。

| 順位 | 満足度の上位5施策(5段階評価) | |
|----|------------------|----------|
| 1位 | 伝統・歴史・文化の継承 | 3.37 |
| | | 3.52(3) |
| 2位 | 健診などを通じた健康づくりの推進 | 3.36 |
| | | 3.58(2) |
| 3位 | 自治会の維持や地域の見守り活動 | 3.29 |
| | | 3.61(1) |
| 4位 | 美しい景観の保全と創出 | 3.29 |
| | | 3.39(14) |
| 5位 | 学校での教育環境の充実 | 3.27 |
| | | 3.24(26) |

| 順位 | 重要度の上位5施策(5段階評価) | |
|----|-------------------|----------|
| 1位 | 地域医療体制の充実 | 4.20 |
| | | 4.38(1) |
| 2位 | 学校での教育環境の充実 | 4.12 |
| | | 4.12(18) |
| 3位 | 子どもを育てる環境や保育機能の充実 | 4.11 |
| | | 4.22(12) |
| 4位 | 母子保健と子どもの医療サービス | 4.05 |
| | | 4.26(8) |
| 5位 | 子育てにかかる経済的な負担の軽減 | 4.03 |
| | | 4.18(14) |

上段は令和2年度調査結果(N=1,320) 下段は令和元年度調査結果(N=1,084)と順位



- ・ 調査を行った56施策について長浜市総合計画に掲げる6政策毎に満足度と重要度を平均したところ、全般的に下落しており、特に重要度では「安心・安全」(0.83ポイント下落)「産業・交流」(0.63ポイント下落)「環境・都市」(0.57ポイント下落)の政策が大幅に下落しました。
- ・ 「市民・自治」と「教育・文化」、「健康・福祉」の政策は、「満足度」と「重要度」がともに平均値を上回っています。
- ・ 「安心・安全」の政策については、満足度の落ち幅が少ないものの、重要度が平均値よりも下落したため、市民の皆さまのニーズを捉えながら現状の満足度を維持する必要があります。
- ・ 「産業・交流」と「環境・都市」の政策は、「満足度」と「重要度」がともに平均値を下回りました。一時的な下落である可能性もあるため、今後も調査を継続し、施策内容の検討を行う必要があります。

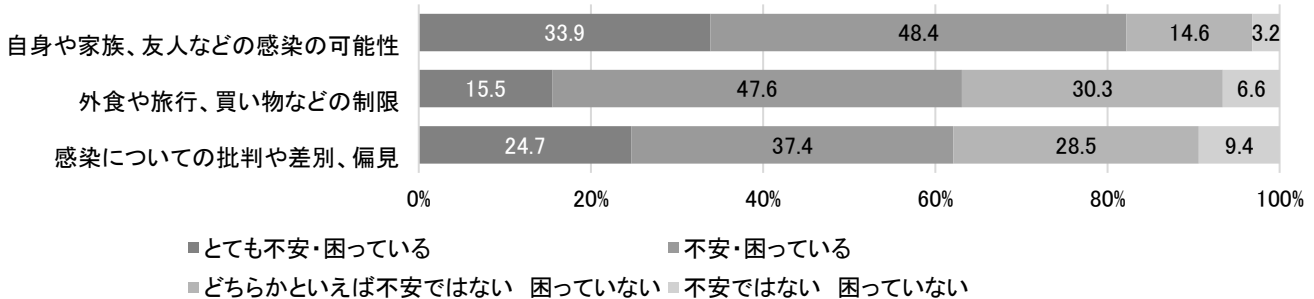
特別調査項目①

新型コロナウイルス感染症の影響

「自身や家族、友人などの感染の可能性」について不安・困っている人は約 8 割
 今後、重要な支援や対策は「ワクチン接種体制の整備」がトップ

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、不安・困っていること（「とても不安・困っている」と「不安・困っている」の合計）についてお聞きしたところ、「自身や家族、友人などの感染の可能性」が約 8 割(82.3%)で 1 位、次に「外食や旅行、買い物などの制限」と「感染についての批判や差別、偏見」が約 6 割(63.1%,62.1%)でした。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う不安や困りごとの上位3項目



- また、コロナ禍における社会において、今後、重要な支援や対策についてお聞きしたところ、「ワクチン接種体制の整備」など、差し迫った場面での支援や対策を求める回答が多い傾向でした。

● コロナ禍における社会において、あなたは今後、どのような支援や対策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

| | | | | | |
|-----|------------------|-------|------|---------------------|-------|
| 1 位 | ワクチンの接種体制の整備 | 66.0% | 6 位 | 感染症に関わる相談対応 | 11.2% |
| 2 位 | 医療や福祉の現場への支援 | 57.6% | 7 位 | 飲食サービス業への支援 | 9.8% |
| 3 位 | 消毒や衛生などの感染予防 | 43.0% | 8 位 | 情報の発信や広報での啓発 | 8.8% |
| 4 位 | 給付金などによる家庭や生活の支援 | 35.9% | 9 位 | 事業者の経済活動の支援 | 8.1% |
| 5 位 | 学校や園などの安全な環境の整備 | 18.3% | 10 位 | 観光業への支援、観光地のにぎわいづくり | 6.9% |

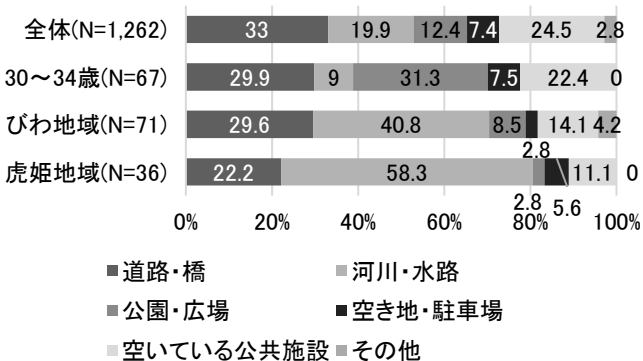
特別調査項目②

開放されている場所の整備と活用

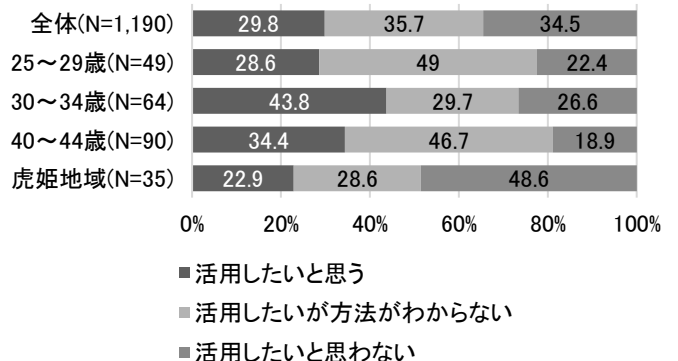
普段の生活の中で優先して整備すべきものは「道路・橋」が約 3 割でトップ
 一般に開放されている場所(公共空間)を活用したいと思う人は約 6 割

- 普段の生活の中で優先して整備すべきだと思うものとして、全体で「道路・橋」が 33.0%と最多でした。子育て世代が多い 30 代前半では「公園・広場」が 31.3%と最も多く、また、びわ地域、虎姫地域では「河川・水路」を選ぶ割合が他の地域に比べて多い傾向でした。
- 一般に開放されている場所(公共空間)を活用したいかどうかについては、「活用したい」(「活用したいと思う」「活用したいが方法がわからない」の合計)と回答した人は約 6 割(65.5%)となりました。特に 20 歳代後半から 40 代前半にかけて 8 割前後の方が活用したいと回答があった一方、地域別に見ると虎姫地域では「活用したいと思わない」と回答した人は約 5 割(48.6%)となりました。

普段の生活の中で優先して整備すべきもの



一般に開放されている場所の活用意向



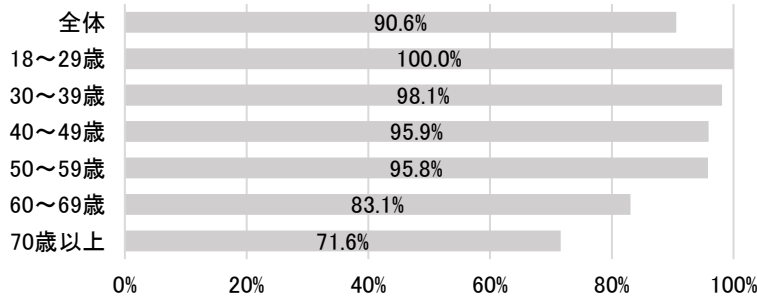
特別調査項目③

情報サービスの利用

スマートフォンの所有率は全体で約 9 割 高齢者層でも 7 割から 8 割が所有

今後、力を入れる市の情報サービスの分野は「災害についての情報発信」が約 6 割

スマートフォンの所有率



・所有している情報通信機器をお聞きしたところ、スマートフォンを所有していると回答した人は全体の約 9 割 (90.6%) となりました。

・また、60 歳代、70 歳以上の世代ではスマートフォンの所有率がそれぞれ約 8 割 (83.1%)、約 7 割 (71.6%) となり、高齢者層においてもスマートフォンの普及率が高い状況です。

令和 2 年度調査結果(N=1,090)

● あなたは現在、市などからのお知らせやサービス、制度に関する情報を得る手段として、以下の情報サービスをどの程度利用していますか。

| 順位 | 媒体 | 令和 2 年度 | 令和元年度 |
|------|------------------|---------|----------|
| 1 位 | 市の広報紙 | 68.5% | 70.1%(1) |
| 2 位 | 自治会回覧板 | 59.0% | 58.8%(2) |
| 3 位 | Yahoo! 防災速報 | 35.6% | (調査無し) |
| 4 位 | 安全・安心メール | 33.4% | (調査無し) |
| 5 位 | SNS(Facebook など) | 28.9% | 17.5%(4) |
| 6 位 | 市のホームページ | 27.8% | 19.6%(3) |
| 7 位 | 動画配信サイト | 26.5% | 12.9%(6) |
| 8 位 | ケーブルテレビ | 13.7% | 17.4%(5) |
| 9 位 | その他 | 11.5% | 10.9%(7) |
| 10 位 | 自治体広報アプリ(マチイロ) | 5.2% | 3.4%(8) |

・市などからの情報サービスで利用する(「よく利用する」と「たまに利用する」の合計)ものをお聞きしたところ、市の広報紙が昨年度に引き続き 1 位 (68.5%) となりました。

・3 位から 7 位についてはインターネットを介した情報サービス「Yahoo! 防災速報」「安全・安心メール」「SNS (Facebook など)」「市のホームページ」「動画配信サイト」がランクイン。スマートフォンなどの情報通信機器を使って情報サービスを利用する人が昨年度より増えています。

令和 2 年度調査結果 N=1,320

令和元年度調査結果 N=1,084 ()は順位

● 情報通信機器やインターネットを使った市のサービスなどでは、どのような分野に力を入れるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から選んでください。(○はいくつでも)

| 順位 | 項目 | 割合 |
|-----|-------------------|-------|
| 1 位 | 災害についての情報発信 | 58.0% |
| 2 位 | 各種申請の手続き | 52.1% |
| 3 位 | 安心・安全にかかる情報発信 | 48.1% |
| 4 位 | 広報などの情報発信 | 35.2% |
| 5 位 | 各種料金の支払い | 29.8% |
| 6 位 | イベントへの申込みや公共施設の予約 | 29.5% |
| 7 位 | 学校や家庭における教育環境の充実 | 25.6% |
| 8 位 | 市が持っているデータの公開 | 22.5% |

・今後、市の情報サービスで力を入れる分野をお聞きしたところ、「災害についての情報発信」と回答した人は約 6 割 (58.0%) となりました。3 位にも「安心・安全にかかる情報発信」がランクインしており、防災や防犯に対する市民の皆さまの意識の高さがうかがえます。

・また、2 位の「各種申請の手続き」と回答した人が約 5 割 (52.1%)、5 位の「各種料金の支払い」と回答した人が約 3 割 (29.8%) と、普段の生活に関わる分野で市役所での手続きのオンライン化を希望する結果となりました。

問い合わせ

長浜市 総合政策部 総合政策課 政策調整係(令和 3 年 4 月からは総務部 政策デザイン課 企画経営戦略係)

〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町 632 番地 電話 0749-65-6505(電話番号は令和 3 年 4 月以降も同じ)